

目標達成計画

作成日: 平成 29年 5月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		出来る事なら、時々室内から、外に出よう。	入居者には、身体状況に落差があり、室内ばかりでのレクレーションなどが企画されている。外の空気や季節の花を観よう。	長崎は一年間で四季がはっきりしている為に、4月の桜、5月ツツジ、8月紫陽花、11月紅葉がある。その季節に咲く花を觀賞しドライブに誘い、その季節感を感じさせる事が目的。また、長崎には長崎らしい祭がある。お宮日、ランタン、精霊流しなどを見学する事も季節感を感じてもらう。	12ヶ月
2		今年こそ温泉に行こう。	泊りがけが出来ないなら、日帰りでも出かけよう	入居者が現在比較的に元気であるので、今年こそは、身体的能力可能な方だけでも、今年こそ、温泉に行こう。以前はホームで入居者と小浜温泉に泊りがけの旅行をした。そんな旅行した入居者の身体的と認知症が年々重たくなり、困難となってしまった。また行けることが出来る可能性がある入居者と、たまには、温泉旅行をしよう。と、企画して行こう。	12ヶ月
3		現状の問題で入居者の安全面のチェックをしよう。	使用している車イス車用の、専用の車椅子を設置したい。	入居者は、病院の定期健診や治療の為に車いすでの移動が必要となる方も居る。当施設では小規模の単独のグループホームでは珍しく、独自の車いす車を所有しているが、入居者が高齢の為に、移動の途中に入居者の首の負担が掛かる事を未然に察知して、車いす車用の首に負担が来ない車いすを設置する。	2ヶ月
4		入居者の喜寿77歳、米寿88歳、卒寿90歳の祝いしよう。	スタッフへの教育。入居者の喜寿77歳、米寿88歳、卒寿90歳、白寿の意味と、どのような物を祝い品として送るのか?も、後世に残る為に語り部として、教える。	ホームには70歳～90歳を過ぎた方がいる。高齢者と接している為に、スタッフは、博学的知識を得る機会を得られた事でもある。その為に、入居者へ尊厳を持つ心得として、生きて来られた歴史と贈り物の意味も一つ一つ、教えて行く事としたいと思います。	12ヶ月